

# 市数研だより

令和4年10月20日発行 NO. 4 熊本市中学校数学教育研究会

10月の定例会が10月13日(木)に錦ヶ丘中学校で行われました。今回はZoomでの配信だけでなく、従来の対面での参加も可能とし、来年度の九州数学教育研究大会に向けた授業づくりがありました。

## 1. あいさつ 市数研会長(花陵中学校 田口校長先生)

先日の市の授業研はお世話になりました。各会場ともに工夫を凝らした授業を提案していただき、学びの多い授業研になったと思います。

花陵中学校では集団宿泊教室があり、私は団長として参加しました。120人の生徒と12人の職員分の飲み物を買う仕事がありました。お店には12個入りの飲み物があり、これを11パック買えば端数も出ずにちょうど買うことができました。12個入りや24個入りの品物を多く見かけるのは、1, 2, 3, 4, 6, 12など約数が多いからだと思います。カレンダーや星座、干支、時間、ギリシャ神話の神、音楽の平均律なども12という数字が関係しています。改めて12という数字の美しさを感じたところでした。

本日の定例会も充実したものになるよう、どうぞよろしく願いいたします。



## 2. 派遣研修で学んだこと (飽田中学校 越地先生)

熊本市の派遣研修として、飽田中学校の越地先生が、9月4日～9日にお茶の水大学附属中学校へ行かれました。同中学校の藤原大樹先生のもとで学ばれたことを報告していただきました。

### ①問題文の工夫

中学2年の連立方程式の利用で、割合の問題を授業で扱われた時の導入です。



ある中学校では昨年の全校生徒は220人。今年は昨年に比べて、男子は5%増え、女子は2%減ったため、全体では4人増えた。このとき、

藤原先生は、「このとき、」まで書いた問題文を生徒に配付し、「この後どんな問題が続くと思う？」と投げかけられていた。

## ②クラスによって板書が違う

生徒の反応や考えはクラスによって違うので、板書が少しずつ変わる。

## ③子どもたちが粘り強く考えている

授業中に真剣に考えるだけでなく、終了後にも先生のところに積極的に質問をしていた。その光景が毎時間見られた。

## ④きめ細やかな指導をしている

1時間の授業の中で、6, 7回は机間指導をしている。机間指導は生徒と関わることのできる唯一の時間という認識で、成長的マインドセットを意識した声掛けを意識されている。

## ⑤現状に満足していない

先生が自分自身を毎日アップデートしていきたいという気持ちがある。新しいことにチャレンジし、生徒の心に火をつける授業をしていきたいと考えているので、いつも悩まれている。

### 3. 九州大会の授業づくり

それぞれのブロックに分かれて、授業づくりを行いました。事前授業を計画しているブロックも増えてきました。年内の定例会は残り1回ですので、本番に向けて本格的に動きだしています。

### 4. 熊本市授業研の振り返り

#### ◎江南中会場 授業者 松本先生より

一次関数の動点問題で、グラフ・式・表のどれを使って解決していくとよいかを考える授業をしました。見方・考え方を働かせるような授業になるように意識しました。

#### ◎江南中会場 会場責任者 犬童先生より

子どもたちがいろいろなアイデアを出した面白い授業となりました。助言者の佐々木教頭先生の助言によって、授業がとても深まる展開になったと思います。

#### ◎湖東中会場 授業者 松村先生より

1年の平面図形で、麻の葉文様の中にある三角形はどのような移動をしたものかを考える授業を行いました。小学校での既習事項の確認や生徒が取り組みやすい学習活動について、さらに勉強していきたいと思います。

#### ◎竜南中会場 授業者 田代先生より

3年の関数  $y = ax^2$  の利用で、テレビ番組のショットガンタッチを題材に、落ちてくるボールをどれくらい離れたところまでなら、走ってきてキャッチすることができるかを考える授業をしました。生徒の意欲を高めることはできましたが、一緒にめあてをつくる場面で課題を感じました。今回の授業づくりを通して、多くのことを学ばせていただきました。

◎竜南中会場 会場責任者 林田先生より

関心意欲を引き出すことができている、生徒たちは数学の有用性についても実感することができていたようでした。私自身も勉強になりました。

4. まとめ

市数研副会長（天明中学校 榎木校長先生）

新しい授業をつくることは難しさもありますが、楽しさもあります。行き詰まったときには、この授業で子どもたちに何を学ばせようとしていたのかをもう一度考えるとよいと思います。

今日の越地先生からの報告にも、授業づくりのヒントがあったと思います。子どもたちが興味関心を高めるためには、生徒に寄り添ったり、自由に考える場を提供したりすることが大事だと思います。子どもが堂々と発言するときよりも、自信がないような発言のときのほうが、まさに今しっかりと考えていることができたと思えることができると思います。

事前研でいろいろな挑戦をしたり、ブロックの先生が各自で授業をされてみたりすることが大事だと思います。楽しみながらできるといいと思います。次回もよろしくをお願いします。



5. お知らせ

次回の定例会は、**11月10日(木)19時～ 井芹中学校**です。

実施方法については、また改めてご連絡いたします。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から**1名以上の参加**をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 城南中学校 椎葉 将大